

「人が集まる空間ってどんな場所？」

第 9 回 TURN ミーティング 開催

令和元年 11 月 17 日(日) 手話通訳・文字支援付き



令和元年 5 月 12 日(日)に開催した第 8 回 TURN ミーティング 撮影：鈴木竜一郎

アートプロジェクト「TURN」の可能性について考え、語りあう「TURN ミーティング」。9 回目の今回は「場が創りだす人の関係性」をテーマに展開します。

建築家の安部良氏は、地域の人たちがイベントを実施できるパブリックガーデンや、「我が家」のようにくつろげる温泉、島のお母さんたちが料理を提供するレストランなど、地域の風土を生かしながら様々な人たちが活用できる建築を手掛けてきました。一方で、福祉環境設計士の藤岡聡子氏は、高齢者施設やコミュニティスペースの企画運営を行いながら、世代や属性を超えて人々が混ざる場の設計を志しています。多彩な機能と人たちが出会う場では、そこに集まる人たちにどのような経験が生まれるのか。安部氏と藤岡氏をゲストにお招きし、それぞれの空間で生まれる新しい関係性や可能性、そして場を創造するために必要な考えや技術について語り合います。

■開催概要

- ・タイトル: 第 9 回 TURN ミーティング
- ・日 時: 令和元年(2019年)11月17日(日) 13:30~15:30 (開場 13:00)
- ・会 場: 東京藝術大学音楽学部 5 号館 1 階 109 教室 (東京都台東区上野公園 12-8)
- ・入 場 料: 無料 ※事前申込不要、手話通訳・文字支援付き
- ・登 壇 者: 安部良(建築家)、藤岡聡子(福祉環境設計士)、日比野克彦(TURN 監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授)
- ・主 催: 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学

■当日のスケジュール

13:00	開場、受付
13:30	開会の挨拶
13:45～14:45	第一部 キーノートトーク ～場が創りだす人の関係性～ 登壇者:安部良(建築家)、藤岡聡子(福祉環境設計士)
14:45～15:30	第二部 クロストーク 登壇者:安部良、藤岡聡子、日比野克彦(TURN 監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授)

■登壇者



安部良(あべりょう)

建築家、安部良アトリエ一級建築士事務所代表。代表作である島キッチン(香川県豊島)をはじめ、あわくら温泉元湯(岡山県西粟倉村)、高森のいえ(奈良県十津川村)、福屋八丁堀本店パブリックガーデンSORALA(広島県広島市)、豊島神愛館 mamma(香川県豊島)ほか、全国で福祉・子育て・観光・移住・環境など領域を超えたプロジェクトを手がける。地域活性の基盤作りと、その舞台となるコミュニティの見える場を設計している。現在、南フランスカランク国立公園でのプロジェクトが進行中。著書『建築依存症/ARCHIHOLIC』(ラトルズ、2006年)。

www.aberyo.com



©Hiroki Kondo

藤岡聡子(ふじおかさとこ)

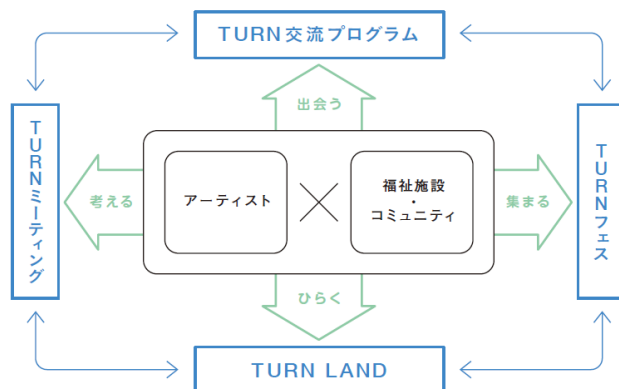
1985年生まれ、徳島県生まれ三重県育ち。夜間定時制高校出身。ReDo 代表取締役、医療法人オレンジ理事、軽井沢町 ほっちのロッヂ 共同代表。2010年、24歳で介護ベンチャー創業メンバーとして老人ホームを立ち上げる。2015年デンマークへ短期留学、その後起業。2017年豊島区にあるゲストハウスの1階で「長崎二丁目家庭科室」をつくり、住んでいる人の「好き」を起点にした表現の場に1000人以上が訪れた。2019年長野県軽井沢町へ3人の子を連れ家族で移住。2019年9月に訪問看護ステーション(のようなもの)を立ち上げ、2020年4月に診療所と大きな台所がある所「ほっちのロッヂ」を開始予定。

※出演者やプログラム内容等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

【TURNとは】

TURNは、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が2020年に向けて、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の一環として展開しており、特定非営利活動法人Art's Embrace、国立大学法人東京藝術大学と実施しています。また東京2020公認文化オリンピックでもあります。

TURNは、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトの総称です。アーティストが、福祉施設や社会的支援を必要とする人のコミュニティへ赴き、出会いと共働活動を重ねる「TURN交流プログラム」と、TURNの活動が日常的に実践される場を地域につくり出す「TURN LAND」を基本に据え、「TURNミーティング」と「TURNフェス」の開催によって広くその意義を発信します。



■TURNを創り出す4つのプログラム

TURN 交流プログラム

アーティストと、福祉施設や社会的支援を必要とする人々が時間を重ねて交流し、共働活動するプログラム。また、社会や日常で意識化されていない課題への気づきを目的としたアーティストによるリサーチも行います。

TURN LAND

福祉施設や団体が、アーティストとともに参加型のプログラムを企画します。場所の持つ従来の機能に、市民が集まることができる地域にひらかれた文化施設としての役割が加わり、TURNを日常的に実践する場をつくります。

TURN フェス

TURN交流プログラムやTURN LANDを実施する多様なアーティストや交流先の活動が一堂に会するフェスティバル。作品展示やワークショップ、トークイベント、オリジナルプログラム等を通して、TURNを体感します。

TURN ミーティング

TURNの可能性を共有し、語り、考えあう場。参加アーティストや交流先などの関係者とともに、各分野で活躍するスペシャルゲストを招き、様々な視点からTURNを考察します。



- ・ 監 修：日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
- ・ プロジェクトディレクター：森 司（アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長）

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、2020年に向けて、文化プログラムを牽引するプロジェクトを展開しています。 <https://www.artscouncil-tokyo.jp>



＜本リリースに関するお問い合わせ＞
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 広報担当：糸園、圓城寺
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp